年間授業計画 新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　芸術　科目 音楽Ⅰ

教　科： 芸術　　科　目： 音楽Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組 ～ 6 組

教科担当者：

使用教科書： （ 音楽ⅠTutti＋（教育出版）　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現の工夫をしたり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な技術を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら、よさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	時配数当
1学期	【知識及び技能】 ［知］曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、および音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ［知］曲想と歌詞との関わりを理解している。 ［技］創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○様々な音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ○正しい発声を身につけて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	〔鑑賞・音楽史〕 ・西洋音楽史の時代区分ごとの作曲家とその作品について理解を深める。 （教材） ・教科書・ファンタジア				○	旋律を知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲に対するその評価とその根拠、及び自分にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	○			
		〔器楽・歌唱〕 ・リズムの学習を通して、豊かな音色になるようリズム演奏に工夫をしたり、リズムパターンを変化させるなど創意工夫をして演奏表現に活かす。 （教材） ・クラッピングカルテット ・野菜の気持ち 〔歌唱〕 ・コンコーネ50番の発声練習曲を使用して「発声の基本の習得」できるように、姿勢、発音なども基礎指導を行う。 〔歌唱〕 ・少年時代 ・日本の唱歌 ・故郷	○	○			楽曲における速度、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わっている。		○		
							主体的・協働的に歌唱・器楽の学習活動に取り組んでいる。			○	
	〔期末考査〕	・実技試験（歌唱・器楽） ・ペーパーテスト（鑑賞）									
2学期	【知識及び技能】 ［知］曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、および音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ［知］曲想と歌詞との関わりを理解している。 ［技］創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○様々な音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ○正しい発声を身につけて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	〔鑑賞・歌唱〕 ・ミュージカルの代表作を鑑賞し、物語とミュージカルナンバーの理解を深め、歌唱表現に活かす。 （教材） ・サウンドオブミュージック ・ウエストサイドストーリー ・レ・ミゼラブル ・代表的ミュージカルナンバー（ソロ、デュオ）を歌唱し、登場人物の心情を感じ取る。 〔器楽〕 ・アルトリコーダーの基本的な奏法を学習しながら、読譜の学習を含めて、ソロ・デュオ・アンサンブルの演奏を通して、音楽表現に活かす。（教材） ・メヌエット ・シチリアーナ ・アメイジンググレイス ・カノン	○			○	旋律を知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲に対するその評価とその根拠、及び自分にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	○			
				○			リズム、速度、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わっている。		○		
				○			主体的・協働的に歌唱・器楽・鑑賞の学習活動に取り組んでいる。			○	
3学期		〔歌唱〕 ・改めて「発声の基本」と「豊かな音楽表現」ができるように、姿勢、基礎指導を行い、芸術歌曲に取り組む。 （教材） ・Caro mio ben ・Heidenroslein	○				主体的・協働的に歌唱・器楽・鑑賞の学習活動に取り組んでいる。			○	合計 70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　芸術　科目 音楽Ⅱ

教　科： 芸術　　科　目： 音楽Ⅱ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組 ～ 6 組

教科担当者：

使用教科書： （ MOUSA２（教育芸術社）　　）

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現の工夫をしたり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な技術を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	時配数当
1学期	【知識及び技能】 ［知］曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、および音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ［知］曲想と歌詞との関わりを理解している。 ［技］創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○様々な音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ○正しい発声を身につけて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	〔鑑賞・音楽史〕 ・西洋音楽史の時代区分ごとの作曲家とその作品について理解を深める。 （教材） ・教科書・ファンタジア				○	旋律を知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲に対するその評価とその根拠、及び自分にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	○			
		〔器楽・歌唱〕 ・リズムの学習を通して、豊かな音色になるようリズム演奏に工夫をしたり、リズムパターンを変化させるなど創意工夫をして演奏表現に活かす。 （教材） ・クラッピングミュージック（ライヒ） 〔歌唱〕 ・コンコーネ50番の発声練習曲を使用して「発声の基本の習得」できるように、姿勢、発音なども基礎指導を行う。 （教材） ・日本の歌曲	○	○			楽曲における速度、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わっている。		○		
							主体的・協働的に歌唱・器楽の学習活動に取り組み、リズム、速度、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わっている。			○	
	〔期末考査〕	・実技試験（歌唱・器楽） ・ペーパーテスト（鑑賞）									
2学期	【知識及び技能】 ［知］曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、および音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ［知］曲想と歌詞との関わりを理解している。 ［技］創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○様々な音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ○正しい発声を身につけて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	〔鑑賞・歌唱〕 ・ミュージカルの代表作を鑑賞し、物語とミュージカルナンバーの理解を深め、歌唱表現に活かす。 （教材） ・オペラ座の怪人 ・代表的ミュージカルナンバー（ソロ、デュオ）を歌唱し、登場人物の心情を感じ取る。 〔器楽〕 ・アルトリコーダーの基本的な奏法を学習しながら、読譜の学習を含めて、ソロ・デュオ・アンサンブルの演奏を通して、音楽表現に活かす。 （教材） ・ソナチネ ・シンコペーテッドクロック ・カノン	○			○	旋律を知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲に対するその評価とその根拠、及び自分にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	○			
				○			主体的・協働的に歌唱・器楽・鑑賞の学習活動に取り組んでいる。		○	○	
3学期		〔歌唱〕 ・既習した「発声の基本」と「豊かな音楽表現」を再度確認し、姿勢、基礎指導を行い、芸術歌曲に取り、詩の深さや歌唱表現を豊かにする。 （教材） ・Vaga luna,che inargenti	○				創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方など技能を身に付けている。			○	合計 70